



ゆりぐみだより

2024年度 2月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

新年初めての登園には子どもたちから「あけましておめでとうございます」「ことしもよろしくおねがいます」と挨拶する姿が見られ、久々に会えた友だちや先生に年末やお正月、お年玉の話をして盛り上がっていました。卒園まで残りわずかとなってしまいましたが、一日一日を大切に、楽しい思い出を作っていきたいと思います。



☆お正月遊び☆

現在、クラス内でお正月遊びが流行っています。特にかるたやコマが大人気です。かるたでは、ほとんどの子が平仮名を読めるようになり、スムーズに音読をしています。なかには、読む子のカードをチラッと見てズルする子もいますが(笑)またコマでは、回し方を知らない子が多く、紐ではなく手で回そうとする子が多くいました。遊び方を伝えると『知らなかった』『すごいまわるね』と驚いていました。毎日、コツコツ練習していくことで、少しずつ回せるようになり、コマ同士をぶつけて対決する子もいました。まだまだお正月遊びは続きそうです。

☆園庭遊び☆

園庭より室内で遊ぶことが好きな子どもたち。なぜ室内がいいのか?尋ねていくと『寒いから』という返答が多かったです。そこで、どうしたら身体が温まるか話をするとう『かけっこしたら温かくあるね』など声が上がります。園庭で遊び前に【マラソン大会】をすることになりました。走り方にもこだわりがあるようで【ゆっくり走る】【手を振る】など子どもたちで決めていました。実際に走ることで温かくなり、子どもたちから【寒い】ではなく【暑い】に変わっていました。これから感染症が流行してくる時期でもあるので、風邪に負けない身体作りをしていきたいと思います。

☆アルバム作り☆

卒園アルバムの表紙作りで、自分の顔と思い出を描きました。一年間の思い出を春、夏、秋、冬、皆で振り返ると、運動会やバス遠足などの行事をあげる子もいれば、春はゆり組になって嬉しかった。桜が咲いた。夏は水遊びしたよね。たくさんダンスした。など沢山の思い出があり、ホワイトボードがあっという間にいっぱいになりました。描くことが決まると、夢中になって描いていた子どもたち。『〇〇は楽しかったねー』と描きながらも思い出話に花を咲かせていました。以前と比べて自分の顔をしっかり描けるようになり、顔を鏡で見たり、子ども同士で見せ合ったり、ほくろなど、細かい所まで描いていました。一人一人、個性豊かな思い出の表紙ができました。

☆獅子舞☆

折り紙で獅子舞を作りました。まずは獅子舞について話をするとう『知ってるー』『頭食べられるんだよね』と子ども同士で話をする姿が見られました。折り紙で作ると、保育者の話をよく聞きながら『簡単だね』と上手に折ることができました。難しい所も『こうだよ』と教え合っていました。次に、色画用紙に獅子舞を貼り周りに絵を描きました。お正月らしい絵を描いている子が多く、凧揚げをしている所、コマをしている所、羽子板をしている所など、お正月休みの時に体験したことを絵に表していました。